

第1回「神戸川の河川環境に関する意見交換会」 主な意見

1. 日 時 平成25年7月17日(水)14時00分～16時00分

2. 場 所 出雲合同庁舎 6階 601会議室

3. 意見概要

1) 分水や水利権等に関する主な意見

- ・調整会議での再生推進会議の意見発表「中国電力の不正などの問題」に対し、中国電力から文書回答をいただきたい。
- ・出雲市長の分水に対する考え方は、「当面 2m³/s放流で状況を確認すべき」というものであるが、再生推進会議は、全面的に分水への反対を主張。
- ・平成23年度に更新許可された乙立発電所の、地元意見聴取についての確認。

2) 河川環境に関する主な意見

- ・きれいな水を流すため、来島ダムと志津見ダムの2つのダムの連携が必要。
- ・川の中の草と草の間に水がちょろちょろ流れている状況で、水草が生えている。これは、水量が少ないことが原因。
- ・反辺地区の川の水は緑色系。来島ダムと志津見ダムの距離が短いため、水が浄化されない。
- ・浄化装置等の設置が必要ではないか。浄化を、中電、国、県、住民のだれが行うのか明確にすべき。
- ・流域に降った雨は、そのまま海に流すべきもの。山と川と海はつながっており、それぞれの生態系も一つにつながっている。生態系の多様性を考えるべき。
- ・フラッシュ放流では、川底の石はほとんど動かず、川が浄化されない。
- ・神戸川に生活ごみが投げている状況であり、こういうことの対策を行わないと河川の浄化にならない。
- ・昨年8月に志津見ダムを視察した際、アオコが大発生しているのを確認したが、来島ダムにもあったのではないか。水質の悪化は、富栄養化の水が流れてくるからではないか。
- ・集落排水は完備されているが、用水に藻がはえるようになった。ダムに貯まった水が原因で、流量を増やしてもきれいにならないのではないか。
- ・ダムへの流入水の水質に問題があるのではないか。